

Pick up!

## 輝く男性の家事・子育て体験記

～ 早出勤務を利用して～

公務員 N・H

現在、妻と娘（0歳4か月）の3人で生活しています。

今年の7月に初めての子どもが生まれたので、8月下旬から10月末まで早出勤務（7時30分出勤、4時15分帰宅）を利用しました。

早出勤務にしてから、朝5時に起き、7時前のJRに乗っていたので、いつもの満員列車ではなく、通勤が快適になりました。

また、夕方の4時40分には帰宅できたので、夕飯を用意し、風呂を掃除し、娘を抱っこして過ごす生活が始まりました。ただ、ここから娘の大泣き（ギャン泣きと命名）との悪戦苦闘が始まりました。

妻の里帰り期間も、妻の実家に通って毎日娘の顔を見ていましたが、妻と妻の父母に抱かれている時間が長かったためか、私が娘を抱っこしてもギャン泣きして、妻に交代する日が続きました。どうしたものかと思い、保健師さんから赤ちゃん泣きやませの方法を覚えてもらったり、図書館でHOW TO(抱っこして外を歩く、ドライヤーの音を聞かせる、一緒に泣いてみる)本を読むなど試行錯誤を繰り返しました。

そのかいあってか、通常の勤務時間に戻る前の10月下旬には、私が抱っこしても泣かなくなり、笑顔で応えてくれるようになったのが、早出勤務期間の大きな成果でした。



ニュースで“孤”育てというキーワードを聞いたときに、妻の話を親身に聴き子育てしたいという思いから、私は早出勤務を利用させて頂きました。これも職場の理解と制度のおかげです。

最後に、いつも温かく迎えてくれる妻の実家と、24時間娘の世話をしてくれている妻に感謝です。今後も、主体的に育児に参加できればと思います。